



**問** 高齢者が生きがいと喜びを持てる場づくりについて問う  
**答** 大木町ならではの地域力を生かして、高齢者が生きがいを持って安心して暮らせる地域を目指して、コミュニティ安心拠点づくりに取り組みたい

**問** 高齢者が生きがいと喜びを持てる場づくりについて、基本的な考え方と、具体的な方策について問う。

**町長** 高齢化が着実に進行していくことが予想される

なか、ほとんどの方が元気な高齢者であるから、福祉サービスの充実と同時に介護を必要とする状態にならないための介護予防、地域での暮らしのための生活支援、高齢者の社会活動、社会参加等の生きがいづくり等の推進が必要である。

そこで、本年3月に、今後3年間における高齢者福祉計画を策定し、介護等の福祉サービスの充実とともに、介護を必要とする状態にならないための介護予防、地域での暮らしのための生活支援、高齢者の社会活動等の生きがいづくりの推進に努めていきたい。

生きがいづくりについては、町民の皆様の協力を得ながら、学習やスポーツ活動の活性化、シルバー人材センターの活

性化、ボランティア活動の促進等に取り組みたい。

さらに、大木町ならではの地域力を生かして、高齢者が生きがいを持って安心して暮らせる地域を目指して、コミュニティ安心拠点づくりに取り組みたい。

具体的には、健康福祉センターや地域の公民館やコミュニティセンターが高齢者の安心拠点施設となるように、これらの施設を活用して、

近隣同士が日頃から助け合い支え合うコミュニティづくりと介護予防の活動を実践するための活動支援が行えるようにしたい。

また、運営に当たっては、地域の自治会、老人クラブ、ボランティアグループなど、多様な主体が参画し、活動に当たっては、住民一人ひとりが役割を分担して主体的に参加できるしくみづくりに目指したい。



福間ミニデイサービス お手玉で玉入れゲーム

**問** 職員の意識改革について問う。

**町長** 職員の意識醸成を図ることが課題として提起されていたが、この点については、職場で検討を行い、係での業務を横断的に実施することで体制の整備が図られ、今年度から事業の実施に向けて既に動き始めている。

**問** 「ふれあい・いきいきサロン」モデル地域の立ち上げ計画について問う。

**健康福祉課長** 本町においても、高齢化率が年々高くなっている状況にあるので、高齢社会を活力あるものにしていくためには、誰もが、住み慣れた地域社会で支えあう、地域コミュニティづくりの推進、生涯を通じた健康づくりや介護予防の充実等が重要である。

具体的な方策としては、高齢者が、楽しく過ごせる場を提供し、仲間づくりや社会参加を促進すること。